



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に「ファーストクラスの心配り」、「あなたの人格以上は売れない!」(プレジデント社)、「成「幸」学」(講談社)、「出過ぎる杭は打ちにくい!」(サンマーク出版)、「面白くなくちゃ人生じゃない!」(ロングセラーズ)、「小説・球磨川」(上下巻・ワニブックス)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ! ————— 人生・農業リセット再出発 211

倒幕その後、設計図なしの明治維新!

明治維新から100年後の1968年、文部省が全国の高校生100人を選抜して米国へ留学させた。私は運よく熊本県代表として夢の渡米を果たした。今年、七夕の日に思い出の羽田空港で50周年記念の生存確認大会を開催したが、スペイン大使、国連大使など活躍中の者も多かった。

徳川幕府は300年も続いたが、維新政府は廃藩置県で270の大名を廃止して武士は失業、明治天皇中心の新国家に統合した。英国だけで世界の4分の1を占領し、フランス、ロシアやアメリカも清国の次は日本植民地化を狙っていた。人口は今より1億人も少ない3,480万人だった。薩長土肥が新国家を作るにはすぐに国家の青写真が必要であった。新政府トップが直接出向いて欧米政治の仕組みを勉強するのが手っ取り早いとの結論になる。公家の岩倉具視、長州の木戸孝允、薩摩の大久保利通、英国留学を経験した長州の伊藤博文などで欧米視察団が結成された。なんと2年近くの長期海外視察だった。今の首相や大臣、省庁トップ107名が2年も日本を留守にしたらどうなるだろうか? もちろん留守番役はいた。西郷隆盛と三条実美、大隈重信、板垣退助、井上馨、江藤新平が残った。

出発は維新3年後の1871年11月12日、横浜港からアメリカの船で23日かけてサンフランシスコへ向かった。アメリカは南北戦争直後だったが、輝く文明に接して驚嘆する。開通したばかりの大陸横断鉄道で首都ワシントンに到着、ニューヨークなど1年近く視察する。ボストンを出航して大西洋横断で10日間かけて英国に到着するとロンドンなど40日間も回る。初めて見る地下鉄が網羅され、テムズ川の13本の鉄橋を鉄道が走るのに驚き、大英帝国の威力に圧倒される。パリで大統領会談、翌年にブリュッセル、アムステルダム、コペンハーゲン、ベルリン、レニングラー

ドへ。北欧、ドイツ、イタリア、ウィーンと移動して、マルセイユから地中海を渡り、エジプトで完成したばかりのスエズ運河160kmを通過して、アラビア紅海を抜けてインド洋へ出る。インド、シンガポール、香港、上海を経て長崎へ到着、1873年9月13日に横浜港に到着。平均年齢32歳の我が国トッピー一行は、632日間かけて12カ国、120を超える都市へ地球一周の研修に出かけたのだ!

こうして欧米模倣の明治新国家が創られ、30年後の1904年には大国ロシアとの日露戦争で勝利し、白人による地球支配を東洋の有色人種の小国日本が打破して世界に衝撃を与える。2年もの留守中に、実は国内で井上馨・渋沢栄一と江藤新平が激突していると日本から電報が届き、残された訪問先のスペインとポルトガルをキャンセルして急ぎ帰国している。失業武士など不満分子の反乱で各地は一触即発状態であった。対策として武士の本分であるイクサを始めれば事は治まる、と征韓論が出てきた。留守番筆頭の西郷や法務大臣江藤はこの案を支持する。朝鮮出兵が8月に閣議決定されたが、9月に海外視察団が帰国、そこに薩摩で無二の親友だった西郷と大久保に大きな亀裂が入る。「留守中に西郷は勝手なことを。今は国家建設が最優先だ、戦費の余裕はない」と対立する。だが士族の不満は全国に炸裂し佐賀の乱が勃発、地元の江藤は大久保によって処刑される。そして西南戦争、西郷も故郷で自害へと追い込まれ、大久保も翌年に紀尾井坂で刺客に殺される。

維新とは700年続いた武家社会を潰し、独立藩を廃止して天皇中心の国家統一を実現させ、欧米に伍する新しい強い日本を創る理想にあった。この大英断の欧米視察が無かったら、今日の日本は別物になっていた。安心・安全・確実の我が美しい祖国、先人の努力に感謝したい。50周年・生存確認大会での話題であった。